

登録コード	UAF37500	開講年度	2026				
授業題目	臨床心理学特論			担当教員	茅野 理恵 他		
				副担当	高橋 知音		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標				授業で得られる「学位授与の方針」		【授業の達成目標】	
2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学							
【心理・長野臨床】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。			
【心理・長野臨床】心理学分野の地域中核人材・研究者として備わっているべき倫理観を有する。資格取得を目指すものは、さらに専門職としての法的義務や倫理についての知識を有する。				心理学分野の地域中核人材・研究者として備わっているべき倫理観を有する。資格取得を目指すものは、さらに専門職としての法的義務や倫理についての知識を有する。			
2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学							
【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				心理学分野の高度な知識・技能を有する。			
【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。			
【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主力的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。				多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主力的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。			
(2)授業の概要		・心理臨床に関わる資格・職域・責務に関する基本的な知識を獲得する。 ・心理臨床における倫理の問題について、事例をもとにディスカッションを行う ・テキストの内容を、自らの経験や知識に基づき理解する。 ・援助者としてのスタンスや基本的態度についてのディスカッションを行う。 ・獲得した知識およびディスカッションに基づき、自らの実践を振り返り、心理援助における課題を検討する。					
(3)授業計画		< 第1回～第7回 担当 高橋知音教員 > 第1回：ガイダンス：臨床心理士という資格 倫理：セルフアセスメント 第2回：心理援助における倫理的問題1 - 守秘義務 - 第3回：心理援助における倫理的問題2 ―境界の管理と多重関係― 第4回：心理援助における倫理的問題3 ―価値観― 第5回：心理援助における倫理的問題4 ―クライアントの権利とカウンセラーの責任― 第6回：心理臨床の専門職とは―職域― 第7回：心理臨床の専門職とは―関連する資格― < 第8回～第14回 担当 茅野理恵教員 > 第8回：心理援助の専門職と自分の特性 第9回：心理援助の教育訓練 第10回：援助過程を構成する諸段階 第11回：初心者が直面する問題1―テキスト1の第4章を読んで― 第12回：初心者が直面する問題2―テキスト2を読んで― 第13回：初心者が直面する問題3―援助における ゆらぎ・曖昧さ・無力感― 第14回：初心者が直面する問題4―援助者の自己理解のまとめ― 最終レポート 期末試験 無 ＊授業最終回到授業アンケートを実施します					
(4)成績評価の方法		1)以下を総合して判定する。 ・授業への主体的・積極的な関与を確認する「授業実績」および「授業準備」：50％ ・毎回の授業内容の理解度を確認する「振り返りレポート」：25％ ・授業のねらいの達成度を確認する「最終レポート」：25％ ＊評価割合は若干の調整を行うことがある。 2)得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可					
(5)成績評価の基準		前週の授業で出された課題の遂行具合 ディスカッションに積極的に参加することができたか 授業後の振り返りレポートにおいて授業内容を十分に理解していたか 心理援助における自らの特徴や課題について理解することができたか 他者の意見を取り入れながら柔軟に課題を検討することができたか 以上5つの観点について ～ の5項目を満たし、且つ新たな視点を組み入れつつ検討することができていれば「卓越している」 ～ のうちの5項目を満たしていれば「かなり上にある」					

(5)成績評価の基準	~ のうちの4項目を満たしていれば、「やや上にある」 ~ のうちの3項目を満たしていれば、「その水準にある」
(6)事前事後学習の内容	・授業に参加するにあたっては、教科書の指定された部分を熟読し、その感想をA4用紙1枚にまとめて持参すること。 ・毎回の授業後には、授業で学んだ内容について振り返り、感想と共にレポートにまとめて提出すること。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。
(7)履修上の注意	この授業は、臨床心理学コースの臨床心理士養成必修の授業です。他の学生は受講できませんので、ご注意ください。
(8)質問,相談への対応	高橋(知)研究室 (N317) TEL:026-238-4223 e-mail: tomonet@shinshu-u.ac.jp 茅野(理)研究室 (E403) TEL:026-238-4207 e-mail: chinori@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	マリアン・コーリィ, ジェラルド・コーリィ (2004). 心理援助の専門職になるために - 臨床心理士・PSWを目指す人の基本テキスト - 金剛出版 遠藤裕乃 (2003). 転んで学ぶ心理療法 - 初心者のための逆転移入門 - 日本評論社
【参考書】	ジェラルド・コウリー他 (2004). 援助専門家のための倫理問題ワークブック 創元社 マリアン・コーリィ, ジェラルド・コーリィ (2004). 心理援助の専門家として働くために—臨床心理士・カウンセラー・PSWの実践テキスト— 金剛出版 日本臨床心理士資格認定協会 (2017). 新・臨床心理士になるために平成29年度版 誠信書房 金沢吉展 (1998). カウンセラー専門家としての条件 誠信書房 金子和夫他 (2016) 新版 心の専門家が会える法律 臨床実践のために 誠信書房